

# デンソーの社会貢献活動

- I. 弊社のプロフィール
- II. CSRと社会貢献の位置づけ
- III. 社会貢献の主要プログラム
- IV. これまでの活動の評価と今後の方向
- V. まとめ

平成21年8月7日

株式会社デンソー 川口 清司

# I. 弊社のプロフィール(平成21年3月31日現在)

1. 設立 昭和24年12月16日
2. 本社所在地 愛知県刈谷市
3. 資本金 1,874億円
4. 従業員数 11万9,919名(連結)
5. 売上高 3兆1,427億円(連結)
6. 製品

先進的なクルマ社会の創造をめざし、4つの製品分野で多様な部品・システムを提供しています。

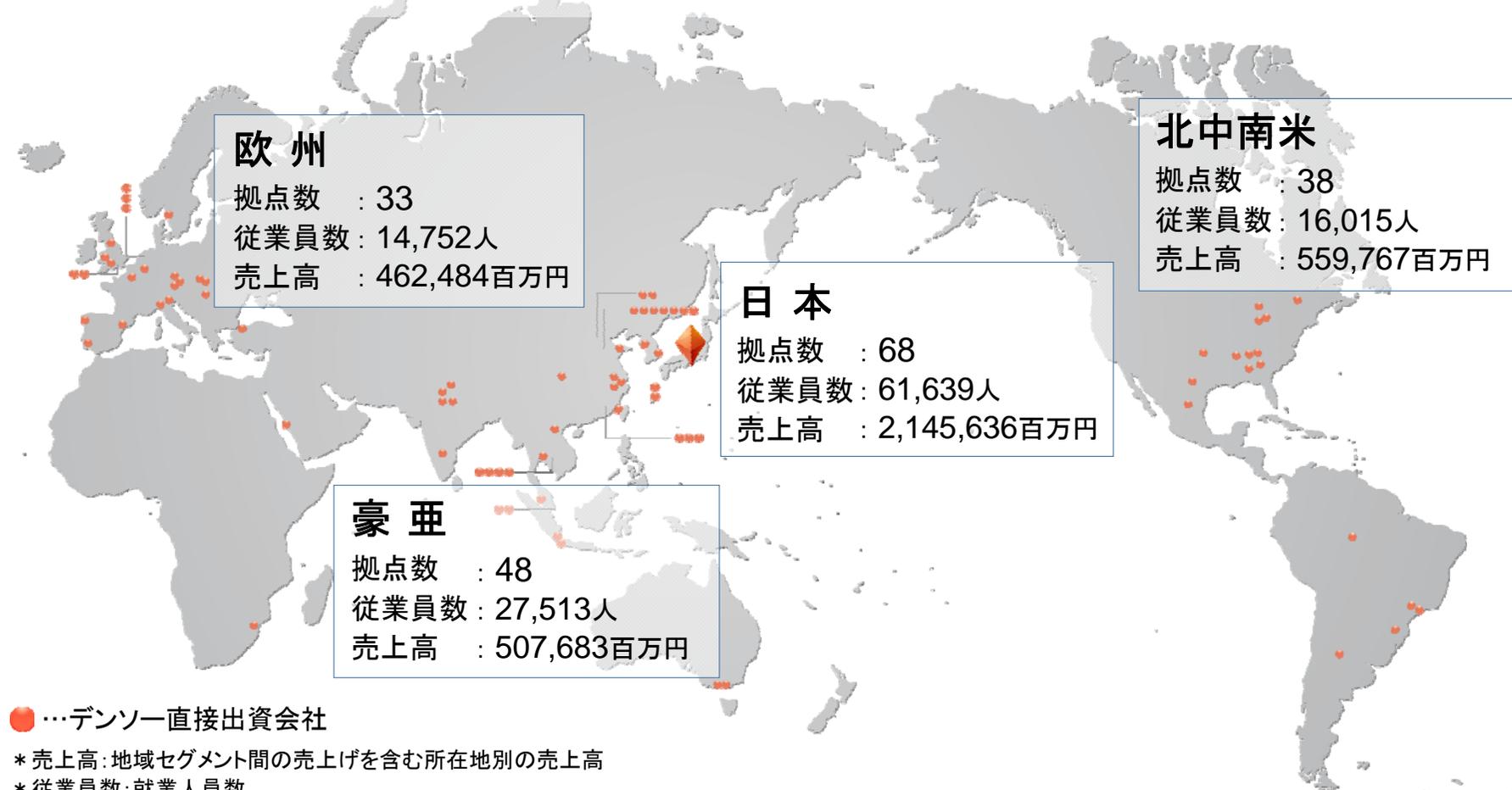
<p><b>安全</b> クルマに乗る人も歩行者も安心できる 交通事故のない社会へ</p> <p>車間制御:ミリ波レーダ</p>  <p>ブレーキコントロール:ESCユニット</p> 	<p><b>環境</b> クルマの一生を通じて 環境負荷が限りなくゼロに近い社会へ</p> <p>ディーゼルエンジン(コモンレールシステム)</p>    <p>サンプライポン</p> <p>ソレノイドインジェクタ</p> <p>ECU</p>
<p><b>快適</b> 誰もが移動できる 空間や時間を 心から楽しめる社会へ</p>  <p>エアコンユニット</p>  <p>ハイブリッド用電動コンプレッサ</p>  <p>バス用エアコン</p> 	<p><b>利便</b> ストレスなくスムーズに移動できる 豊かなクルマ社会へ</p>     <p>カーナビゲーションシステム</p> <p>ETC</p>

## 7. 地域別の事業拠点

全拠点数 219社 (32の国と地域 ※日本含)

連結子会社数 : 187 (日本 68、北中南米 38、欧州 33、豪亜 48)

持分法適用関連会社数 : 32 (日本 13、北中南米 5、欧州 3、豪亜 9、その他 2)





## 2. デンソーグループ社会貢献活動基本方針 <06年11月制定>

### デンソーグループ企業行動宣言

社会との共生を目指して、**事業活動を行うあらゆる地域**で社会貢献活動に努めます

### デンソーグループ社会貢献活動基本方針(要旨)

#### ◇重点分野

##### 1. 人づくり

- ・次世代の人材育成(科学技術・技能教育等)
- ・社会参加のための自立支援(障がい者等)

##### 2. 環境共生

- ・コミュニティの自然環境保護
- ・地球環境保護

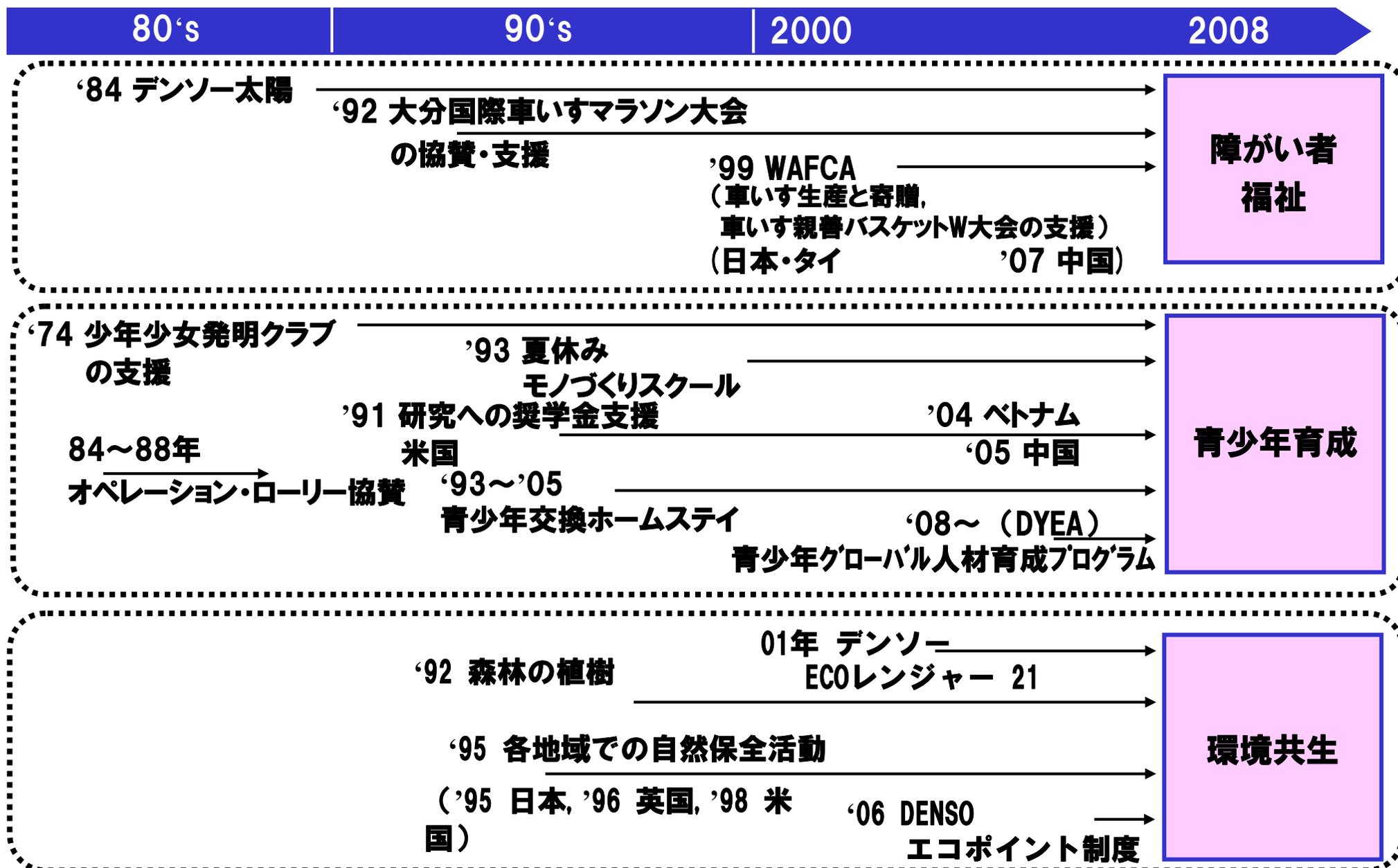
#### ◇社員参加の風土づくり

社員のボランティア活動支援

#### ◇情報発信

積極的な情報発信と双方向コミュニケーション

## 2. 社会貢献活動の歴史



※その他ボランティア支援センターによる社員のボランティア活動支援を推進しています。

### Ⅲ. 社会貢献の主要プログラム

**記録映像をご覧ください。**

## IV. これまでの活動の評価と今後の方向

### 1. 活動の評価

・概ね計画どおりに活動を推進し、社会からの評価も向上

⇒ 東洋経済誌で07年CSR1位の評価

週間東洋経済 2008.5.17より抜粋

第11回環境報告書賞/第5回サステナビリティ報告書賞

#### ■ 東洋経済「CSRランキング」トップ20社

2007年

2006年

順位	社名	総合ポイント	順位	社名	総合ポイント
1	デンソー				538.9
2	東芝				537.0
3	シャープ				536.6
4	ソニー				534.2
5	トヨタ自動車				532.5
6	松下電器産業				530.4
7	富士フイルムホールディングス				529.9
8	キヤノン	525.6	8	リコー	528.9
9	リコー	525.5	9	三菱電機	522.5
10	三菱電機	516.6	10	富士フイルムホールディングス	521.4

◆評価されている点(強み)

- ・先進性、オリジナル性
- ・継続性

## 2. 事業環境の変化と会社の取り組み姿勢

### <事業環境の変化>

	これまで (05年~)	→ 今後(08年~)
世界経済	BRICSの成長による好景気	世界同時不況
自動車業界	・空前の好景気 ・急速なグローバル化	市場の急速な冷込み 収益悪化(赤字転落)
社会の期待	・収益の社会還元	雇用維持、次なる成長
	・企業の社会的責任(CSR)の重視 ・地球環境問題への対応	← ←
社員	・高負荷・繁忙感、収入増	自由時間増、収入減

### 悩み

従来のやり方を継続するだけなら  
社員・株主からの批判を招く恐れ

業績悪化だけを理由にやめれば  
社会からの信頼が失墜する恐れ

### <DNの社会貢献に対する期待>

◆ステークホルダーダイアログ(08年12月)より  
「地域の課題・困りごとを真摯に聞いて、課題の解決に向けた活動に結びつけて欲しい」 → 地域との連携

### 会社の姿勢

**適正なコストで、社会からの期待に応え続けられる社会貢献活動を追求**

### 3. 今後の方向

#### <デンソーの社会貢献活動と社員のありたい姿>

	(導入) <span style="float: right;">→</span> (成熟)		
会社	◆地域との共生を目指し、 組織・内容整備	◆認知・共感を高めるため、独自性 発揮、グループ連携の社会貢献	◆持続可能な社会貢献 ・地域や団体の活動を側面支援 ・独自性あるプログラムの継続
	会社主導		地域・社員主導
	対社員： 活動啓発	活動参加支援	活動当事者を側面支援
社員	知る		できる範囲で 気軽に参加  自ら主体的に動く

DNの現在の位置(1/4の社員が関与)  
次のステージへのステップアップに向け加速させる時期

#### <今後の方向>

【これまでの取組み】  
会社主導の活動を充実



- ① 従来の会社主導活動を棚卸し、オリジナル性のある活動に絞込み  
(含む：ノウハウを伝承し得る外部団体との協働)
- ② 社員の社会参加を後押しする施策の充実・強化

## 4. 進め方

### (1) 会社主導活動を棚卸し、オリジナル性のある活動に絞込み

#### <考え方>

・これまで評価されてきた活動を以下のとおり区分

**(1) オリジナル性が高いプログラムは、極力コストを節減して継続**

**(2) 協働先・地域団体にノウハウを伝承し、やる気・実力のある団体に2～3年かけて主体を移管 (※)**

※活動ノウハウを伝承して、ソフトランディング

⇒ DNは、リソース(ノウハウ・ヒト・モノ)提供やPRを支援

項目	進め方
プログラム単位でのコストの節減	個々のアイテムのコスト削減策の推進 <p>…ex. 弁当を幕の内からおにぎりのみへ</p>
	受益者負担化 <p>… ex. 費用の発生する部分を一部受益者が負担</p>
	考え方に賛同する企業・団体(含む行政)との協働運営
地域団体へのノウハウ伝承	協働先に対し、考え方を含めた理解活動の推進 <p>⇒その後、実際の運営支援</p>

## (2)社員の社会参加を後押しする施策の充実・強化

### <従来の活動>

	内容 ( ): 08人員	評価
<b>ボランティア支援</b> (94~) NPO法の全分野 & 事業所周辺の 活動を対象	・ハートフルクラブ (1700人) ・マッチングギフト(600人)	取組開始10年経過し、 計2,310名 (ボランティア参加 =無償の奉仕)
	・ボランティア表彰(1人) ・NPOインターンシップ(10人)	▲ <b>敷居高い</b>
	・はあとふる基金(4500人) 100円単位で天引	● <b>敷居低い</b> ▲活動への後押弱
<b>DECOポン</b> (06~) 環境分野 事業所周辺 + 家庭のEco活動 を対象	【ポイント貯める】 ・家庭でのEco活動 ・環境ボランティア ・Eco商品購入  【ポイント使う】 ・Eco商品と交換 ・地域の環境活動に助成	取組開始2年間で 7000名加入  ● <b>敷居低い</b> 身近な活動で ポイント獲得 ⇒お得感あり  ▲50%がとりあえ ず加入しただけ (理由)面倒・ 興味ない ↓ 活動参加とポイ ント活用の促進 が課題

### <施策充実の方向>

#### 「敷居の低い活動」

キーワード: **身近・お得・気軽**

- ・職場でも、自宅でも活動は自由(身近・気軽)
- ・どんな活動でもポイントが貰える(お得)
- ・簡単に登録・申請ができる(気軽)



#### 会社の社会貢献のスタンス拡大

#### <今後の施策>

<従来領域>

会社プログラム・  
制度への参加

<新規領域>

社員の生活地域・家  
庭での社会貢献

#### <進め方>

- (1) 活動を後押しする情報発信強化
- (2) 応援のスタンスの周知
- (3) 活動参加とポイント活用のしくみ整備

会社の動き(進め方より)	社外にあれば嬉しい機能
<ul style="list-style-type: none"> <li>・オリジナルプログラムに賛同 いただける連携先探し (協働先)</li>   <li>・社員の社会参加を後押し する情報発信強化</li>   <li>・地域活動への社員参加を促進</li>   <li>・社員が獲得したポイントを 活用するしくみの整備 ⇒ポイントで買える商品・ 地域活動への助成など</li> </ul>	<p>安心して連携できる有意なNPO・団体・スポンサー候補の 情報提供を行う機能(含む 相談できるところ)</p> <p>各地域のお困り情報、ボランティア活動の紹介機能 (→ 安心して、社員に紹介できる)</p> <p>企業人側(資源提供側)の立場を理解、受入れることが可能 な団体や具体的な活動を紹介する機能 (→ 安心して、社員に紹介できる)</p> <p>市民(含む社員)をもっと巻き込むための工夫を行う機能 (…でないとおちともボランティア活動が普及せず、町が住み 良くなる)</p> <p>[企業・各種団体がポイントプログラムを導入している]</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>ポイントの相互乗り入れ、協働運営などを調整する機能</p>

**ご清聴ありがとうございました。**